

地域課題解決型協働推進事業に対するコメント概要

事業名		今治中心市街地の記憶を次世代に伝える「オールドイマバリ・クエスト」				
実施団体名		一般社団法人コード・フォー・イマバリ				
協働団体		①今治コミュニティ放送株式会社				
事業概要		<p><b>【事業目的】</b> 今治の歴史文化をデジタル共有財化し、幅広い世代に街の記憶を伝えるゲームを展開。楽しみながら未来に繋がる地域社会を形成する。</p> <p><b>【事業内容】</b> 住民等から未来に残したい地域情報（写真や物語）を収集し、デジタルマップにスポットを登録。これを巡るクエストゲームを開催する。</p>				
補助額		市補助額	799,000 円	総事業額	2,004,239円	補助対象経費 1,141,739 円
コ メ ン ト	実施団体	<p><b>&lt;事業を実施しての効果&gt;</b> 1.地域住民の地域愛着度の向上 2.関係人口の地域貢献意欲の向上 3.観光客、地域住民による地域消費の拡大 4.（将来的に）地域事業者への就業、定着の意向向上</p> <p><b>&lt;事業を実施しての問題点&gt;</b> ・若年層の参加が少なかった</p> <p><b>&lt;問題点に対する解決策&gt;</b> ・学生団体との連携を図り、勧誘のアイデアをいただく。</p>				
	市民活動推進委員	<p><b>&lt;総評&gt;</b> ・世代が変わると古い写真も捨ててしまうと思うので、未来に残したい地域情報・写真の収集をもっと広めることができるとうい。</p> <p>・他の市町では実施されていない形でのデジタルスタンプラリーが今治で継続的に実施されていることは、大変価値のある取り組みになっていると思う。</p> <p>・費用に対して参加者が少なく、補助金がなくなってからの活動、継続性が心配であったが、これまでのコンテンツを使うなど計画性が認められ、更なる広がりを期待したい。</p> <p>・地域住民の地域力向上で歴史文化を知ることができる事業であり良い。</p> <p>・今後の展開として、「子供が真ん中フェスタ」など、子どもが中心である事業と抱き合わせていけば、少しは若い層に広がるのかもしれない。</p> <p>・NFTの活用方法に期待する。</p> <p>・参加者が固定せず毎回新たな人が参加してくれているということだが、リピーターを増やして、これに新しい参加者が加わってもらいたい。また、若年層の参加者が少なかった原因を調査し、工夫が必要である。</p> <p>・若い方の参加が課題。来年度以降、若い方の都合に合わせて実施予定とのこと期待したい。</p>				